

## 消費動向指数（CTI）について

総務省統計局統計調査部消費統計課 杉田 貴司

総務省統計局統計調査部消費統計課 高部 勲

総務省では昨年9月から、総務大臣の主宰による「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」を開催し、新たな消費関連指標の在り方やビッグデータの活用について検討を行い、本年3月に、その報告書を取りまとめたところである（参考文献[1][2]）。

報告書では、ビッグデータ等を活用し、消費動向の全体構造を捉える新たな速報性のある包括的な消費指標の体系である消費動向指数（CTI：Consumption Trend Index）を短期及び中長期視点に立って開発し、提供することが提言されている。

報告書における提言を踏まえつつ、総務省統計局では現在、以下の消費動向を把握するための指標の開発に向けた検討を行っており、その結果の提供に向けて、必要な準備・作業等を進めているところである。

### (1) マクロ消費動向：

- ・時系列分析手法（状態空間モデル）により社会全体の消費動向を推計。
- ・データソースにバイアス補正等を行い実用化したビッグデータを加え、より速報性の高い推計モデルを構築。

### (2) ミクロ消費動向：

- ・世帯の家計消費の月次動向等を各種データによる家計調査の補完・補強により推計。
- ・家計調査、家計消費状況調査、家計消費単身モニター調査により、世帯の消費動向を包括的に把握可能な、家計調査の上位モデルとなる指標体系を構築。

### (3) その他消費動向：

- ・企業消費（家計外消費）、インバウンド消費等の動向をビッグデータ等から推計。

また、上記の指標の開発と併せて、ビッグデータの即時性、多様性、多量性等を活かした統計作成に向けて、産学官連携の研究協議会や、ビッグデータの実用化を促進するための取組を進めているところである。

当日は、以上の取組に関する検討状況と今後の方向性について、紹介する。

[1] 「消費動向指数（CTI）の開発に向けて」（平成29年3月22日）総務省

[2] 「『速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会』報告書の公表」（平成29年3月22日）総務省報道資料